



岩手県立療育センター【概要】

～岩手県社会福祉事業団がサポートします～

1 沿革

昭和 32 年 12 月 11 日 岩手県立都南学園開園（盛岡市手代森地区）

昭和 51 年 8 月 1 日 肢体不自由児者総合福祉施設「岩手県立都南の園」

平成 19 年 4 月 1 日 岩手県立療育センター

※ 社会福祉法人岩手県社会福祉事業団が指定管理制度で管理運営

平成 27 年 11 月 10 日 新築工事着工（矢巾町藤沢地区医大敷地内）

平成 29 年 10 月 19 日 新センター竣工（建設工事完了）

平成 30 年 1 月 5 日 新センター開所、事業開始

2 施設の概要



- 所在地 〒028-3602 岩手県紫波郡矢巾町大字藤沢 2-29-1
Tel019-601-2777 fax019-697-3900 <http://www.i-ryouiku.jp/>
- 建物構造 RC 構造地上 3 階建て耐震構造
- 敷地面積 20,576.07 m²【駐車台数 94 台】
- 床面積 12,643.31 m²【障がい児支援棟 10,076 m²・障がい者支援棟 2,566 m²】
※ 岩手県立盛岡となん支援学校 9,276.62 m²、総床面積 21,919.93 m²
- 工事費 約 61 億円【岩手県立盛岡となん支援学校約 35 億円・総工事費約 96 億円】

3 新療育センター整備の重点項目

- (1) 超重症児（者）等に対応したハード・ソフト両面の体制整備
 - ① 医療機器等整備及び機能強化
 - ～ MRI（1.5 テスラ）、手術室（クラス 10000）、X線透視装置整備等
 - ② 超重症児（者）等への対応強化
 - ～ 超重症/準超重症児（者）対応病床新設、通所児（者）用医療設備整備等
 - ③ 在宅重症児（者）支援機能追加
 - ～ 一般病床新設による在宅重症児（者）症状重篤化対応、NICU 後方機能等
- (2) 診療科増設による診療体制充実
 - ～ 6診療科から8診療科体制による対応強化と受診負担軽減等
- (3) 特別支援学校との連携
 - ～ 岩手県立盛岡となん支援学校との連携による医療・福祉・教育の一体化

4 療育センターの主な機能

- (1) 障がい児支援部門
 - ① 入所部門【児童福祉法】
 - ・医療型障害児入所施設（病棟）：定員 60 人
 - 肢体不自由児対応病床 30 人、超重症/準超重症児（者）対応病床 20 人（新設）、一般対応病床（在宅重症児（者）病状重篤化対応・NICU 後送病床機能）10 人（新設）
 - ・在宅障がい児（者）ショートステイ
 - 短期入所 5 人【障害者総合支援法】、日中一時支援 3 人【地域生活支援事業】
 - ② 診療部門【医療法病院】
 - ・診療科：小児科・整形外科・児童精神科・歯科・神経内科・泌尿器科（現行）、眼科・耳鼻咽喉科（新設）
 - ③ 在宅支援部門
 - ・医療型児童発達支援センター「つくしんぼ」：定員 20 人【児童福祉法】
 - ・児童発達支援・生活介護事業所「かがやき」：定員 15 人【障害者総合支援法】
 - ④ 相談支援部門
 - ・発達障がい者支援センター「ウィズ」【発達障害者支援法】
 - ・障がい児等療育支援事業「ソスカ」【岩手県委託事業】
- (2) 障がい者支援部門（障害者支援施設）【障害者総合支援法】
 - ① 施設入所支援：定員 30 人
 - ② 自立訓練（機能訓練）20 人、自立訓練（生活訓練）6 人、就労移行支援 6 人

5 施設のレイアウト

